

第6次草津市総合計画策定に向けての各意識調査の結果分析

■ 各意識調査（まとめ）

- **市民意識調査および高校生アンケート調査では、**将来の望ましい都市像の実現に向けては、現在の都市像として実感いただいている、快適で住み心地の良い生活環境を維持させながら、**人権、健康・福祉、防犯・防災、スポーツ、教育や子育て**といった分野で更なる充実・強化を望まれている傾向がある。また、未来の草津を表す言葉としては「**安全・安心**」、「**快適さ**」、「**便利さ**」が選ばれており、こうした市民の未来への願いや想いを受け止め、各分野の充実・強化に向けた検討を行う必要がある。
- **転入者アンケート調査では、**転入の決め手としては、「通勤・通学時間」、「住宅価格、家賃、広さ」の順となっており、**生活環境の利便性で本市への転入を選ばれている傾向が強い**。また、今後の草津市に対しては、「住み心地の良い住環境の充実」や「医療・福祉サービスの充実」を期待される声が多い。

(1) 市民意識調査

調 査 期 間	平成 30 年 12 月 27 日～平成 31 年 2 月 19 日
回 収 状 況	有効回収数：1,153 件（回収率：38.4%）
現 在 の 都 市 像	①健康づくりや医療・福祉サービスなどが充実し、健康で元気暮らせるまち ②利便性が高く、快適に生活できている都会的なまち ③住宅地などの住環境や景観が良好で住み心地が良いまち
将来の望ましい都市像	①健康づくりや医療・福祉サービスなどが充実し、健康で元気暮らせるまち ②防犯・防災・交通安全などが充実している安全で安心して暮らせるまち ③子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実しているまち
未来の草津市を表す言葉	①「安全・安心」、②「快適さ」、③「便利さ」が選ばれている。
今後の生活での心配	「保険・年金などの社会保障」、「自分や家族の介護」、「病院や福祉施設」など 福祉分野の心配が多い 。

(2) 高校生アンケート調査

調 査 期 間	平成 30 年 12 月 2 日～平成 31 年 2 月 19 日
回 収 状 況	有効回収数：1,490 件（回収率：90.4%）
現 在 の 都 市 像	①趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち ②利便性が高く、快適に生活できている都会的なまち ③住宅地などの住環境や景観が良好で住み心地が良いまち
将来の望ましい都市像	①人権の尊重や男女共同参画の意識が高く、すべての人にやさしいまち ②趣味や娯楽、スポーツ活動が充実しているまち ③将来を担う子どもたちの教育環境が充実しているまち
未来の草津市を表す言葉	①「 快適さ 」、②「 便利さ 」、③「 安全・安心 」が選ばれている。

(3) 転入者アンケート調査

調 査 期 間	平成 31 年 1 月 8 日～平成 31 年 2 月 28 日
回 収 状 況	有効回収数：181 件
転 入 者 の 年 齢	「20 歳代」「単身」の転入者が多い。
転 入 の き っ かけ	「仕事上の都合」が最も多く、次いで「家庭の都合」、「住宅の都合」となっている。 （「学校上の都合」は全体の4%程度）
転 入 の 決 め 手	「通勤・通学時間」が最も多く、次いで「住宅価格、家賃、広さ」、「買い物等生活の利便性」、「交通の利便性」となっている。
草津市に期待すること	「住み心地の良い住環境の充実」「医療・福祉サービスの充実」が期待されている。

